ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

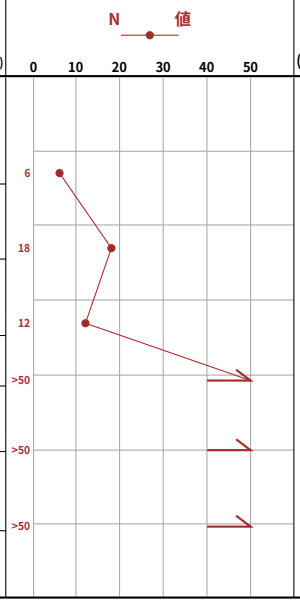
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-6		調査位置							北　緯	36 ° 20 ' 34.0000 "
発注機関	栃木県足利土木事務所				調査期間	2010-02-09 ～ 2010-02-15				東　経	139 ° 28 ' 09.0000 "
調査業者名			主任技師		現場代理人		コア鑑定者			ボーリング責任者	
孔口標高	45.37 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 30.00 °	使用機種	試錐機		ハンマー落下用具
総掘進長	6.50 m								エンジン		ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1 2 3 4 5 6	41.27	4.10	4.10		崖錐土	暗褐	緩い / 中ぐらい		角礫混り粘性土 3～5cm角礫混入する 礫分含有量多い コアは硬質片状で採取 風化粘板岩による崖錐土、粘土質礫状である。		
	38.87	2.40	6.50		風化粘板岩 (Sl)	灰			粘板岩は角礫状、5～10cmの短柱状コア主体 採取率100%、RQD=0～30% 風化しコアはもろく砕けやすい 風化粘板岩コアは粗面を呈し全体に風化する。		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	3	2	1	6／30	6
1.45					
2.15	4	5	9	18／30	18
2.45					
3.15	4	6	3／12	13／32	12
3.47					
4.00	25	25／5		50／15	>50
4.15					
5.00	50／3			50／3	>50
5.03					
6.00	50／9			50／9	>50
6.09					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
		4.50 / 4.70	B-6-1			02/12
						02/15